

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 クニミネ工業株式会社

コード番号 5388 URL <http://www.kunimine.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國峯 保彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略部長 (氏名) 小山 孝志

TEL 03-3866-7255

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,873	0.0	394	74.5	465	49.9	300	61.3
23年3月期第2四半期	4,870	12.2	226	—	310	—	186	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 317百万円 (91.1%) 23年3月期第2四半期 166百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	24.57	—
23年3月期第2四半期	15.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	12,588	9,608	75.8
23年3月期	12,809	9,413	73.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 9,539百万円 23年3月期 9,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,900	1.9	1,120	15.6	1,240	5.4	730	143.9	59.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	14,450,000 株	23年3月期	14,450,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,204,996 株	23年3月期	2,204,996 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	12,245,004 株	23年3月期2Q	12,246,027 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

目次

1. サマリー情報（その他）に関する事項	P 1
(1) 当四半期中における重要な子会社の異動	P 1
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 1
2. 連結業績予想に関する定性的情報	P 1
3. 連結経営成績に関する定性的情報	P 2
4. 連結財務諸表等	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P 7
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記	P 7
(5) セグメント情報	P 7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P 7

1. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

該当事項はありません。

② ①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

③ 会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

④ 修正再表示

該当事項はありません。

2. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績および今後の見通しを勘案し、前回発表（平成23年5月13日）の業績予想を修正しております。なお、当該予想に関しましては、平成23年10月28日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期における我が国経済は、サプライチェーン（供給網）の復旧に伴い、東日本大震災からの停滞を脱して回復の途上にあるものの、米国を中心とした世界経済の減速懸念や欧州の債務危機、円高の長期化等、復興需要が本格化しない中、先行き不安要素が拭えない状況が続きました。

このような状況下、当社グループにおきましては、主要納入先のうち、鋳物業界は、震災の影響による部品不足から減産していた自動車生産台数が急回復してほぼ正常化しましたが、土木建築業界におきましては、住宅着工件数は回復してきているものの水準自体は低く、都市土木や公共工事も災害復旧への取り組みの遅れ等から低迷しており、全体としては厳しい状況下で推移いたしました。

このような背景のもと、当社グループは、災害からの早期復旧や電力不足問題等への対応を進めるとともに、海外展開への取り組みや生産効率の向上等の諸施策を進め、売上高および利益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、土木建築関係向けを中心としたベントナイト事業部門の落ち込みはありましたものの、収益性の高いアグリ事業部門や化成品事業部門が好調に推移したこと等により、売上高は48億73百万円（前年同期比 0.0%増）と横這い、不安定な経済や社会情勢から固定費等の経費削減に努めた効果も加わり、営業利益は3億94百万円（同74.5%増）となりました。経常利益につきましては、前期にありました受託製造中止に伴う設備負担額の受取補償金32百万円がなくなったこと等により4億65百万円（同49.9%増）となりましたが、四半期純利益につきましては、「東日本大震災」や「平成23年7月新潟・福島豪雨」に伴う災害による損失31百万円がありましたものの、米国子会社において繰延税金資産・負債の回収可能性の見直しの結果税金費用の負担が減少したこと等により、3億円（同61.3%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ベントナイト事業

鋳物関係につきましては、主納入先である自動車業界において、生産台数が震災の影響による大幅な落ち込みから急回復しており、建機等においても金融引き締めの影響で減速している中国を除くその他の新興国や資源国向けの輸出、復興関連の国内向けが好調に推移し、増収となりました。土木建築関係につきましては、住宅エコポイントの期限が迫ったことによる駆け込み需要等により住宅着工件数は回復してきているものの水準自体は低く、前年同期にありました地熱関係の需要がなくなったこと等により、大幅な減収となりました。ペット関係につきましても、厳しい価格競争が続く中、採算性を重視した結果、OEM品の取扱量の減少もあり、減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は33億91百万円（前年同期比 4.9%減）、セグメント利益は4億19百万円（同 7.0%増）となりました。

② アグリ事業

溶出制御剤は前年同期に比べ若干落ち込みを見せたものの、震災の影響により前期3月に予定していた除草剤等の生産が当期に繰り越されたこと、農薬用基剤販売が前倒しに推移したこと等に加え、既存殺虫剤の受注増や新規殺菌剤の受注獲得もあり、大幅な増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は8億6百万円（同20.9%増）、セグメント利益は1億1百万円（前年同期はセグメント損失34百万円）となりました。

③ 化成品事業

ファインケミカルのうちクニピアが輸出向けを中心に好調を維持、止水材につきましても震災により遅れていた建築物件も動き始めて増収となり、厳しい競争が続く環境保全処理剤がほぼ横這いとなったことから、全体としても増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は6億67百万円（同 6.4%増）、セグメント利益は98百万円（同 71.9%増）となりました。

④ 環境事業

環境関連プラントの運営受託業務において請負金額が減少した他、下水汚泥焼却灰から放射性物質が検出されて業務が制限される状態となり、減収となりましたが、現在、汚染灰の処理技術の確立に努めております。

この結果、当セグメントの売上高は8百万円（同29.6%減）、セグメント損失は15百万円（前年同期はセグメント損失15百万円）となりました。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,849,268	2,379,105
受取手形及び売掛金	3,151,319	2,988,858
商品及び製品	282,746	311,558
仕掛品	211,257	254,889
原材料及び貯蔵品	723,157	1,140,321
その他	146,634	149,549
貸倒引当金	△22,333	△12,214
流動資産合計	7,342,050	7,212,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,227,345	1,312,551
機械装置及び運搬具（純額）	1,025,731	923,764
土地	1,636,236	1,636,236
リース資産（純額）	138,422	111,289
その他（純額）	218,835	135,168
有形固定資産合計	4,246,571	4,119,010
無形固定資産	120,315	105,948
投資その他の資産	1,100,780	1,151,604
固定資産合計	5,467,666	5,376,562
資産合計	12,809,717	12,588,629
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	549,403	561,325
短期借入金	707,000	442,400
未払法人税等	308,950	155,237
賞与引当金	130,043	129,513
その他	624,226	538,873
流動負債合計	2,319,624	1,827,350
固定負債		
長期借入金	—	147,000
退職給付引当金	11,914	11,083
閉山費用引当金	466,853	470,876
環境対策引当金	3,200	3,200
負ののれん	110,254	82,691
資産除去債務	23,494	23,494
その他	460,971	414,725
固定負債合計	1,076,689	1,153,071
負債合計	3,396,313	2,980,421

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	2,223,224	2,223,224
利益剰余金	6,045,633	6,224,029
自己株式	△524,131	△524,131
株主資本合計	9,362,526	9,540,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,266	71,165
為替換算調整勘定	△60,886	△72,466
その他の包括利益累計額合計	379	△1,300
少数株主持分	50,497	68,586
純資産合計	9,413,404	9,608,207
負債純資産合計	12,809,717	12,588,629

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	4,870,867	4,873,260
売上原価	3,374,197	3,263,003
売上総利益	1,496,669	1,610,256
販売費及び一般管理費	1,270,432	1,215,398
営業利益	226,236	394,857
営業外収益		
受取利息	573	468
受取配当金	39,091	43,621
負ののれん償却額	27,563	27,563
受取補償金	32,986	—
貸倒引当金戻入額	—	10,119
その他	20,099	16,517
営業外収益合計	120,315	98,289
営業外費用		
支払利息	11,022	7,765
為替差損	21,323	18,557
その他	3,496	1,108
営業外費用合計	35,842	27,431
経常利益	310,709	465,715
特別利益		
固定資産売却益	1,459	762
貸倒引当金戻入額	4,905	—
特別利益合計	6,364	762
特別損失		
固定資産除却損	2,644	3,290
災害による損失	—	31,223
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26,583	—
その他	3,020	—
特別損失合計	32,248	34,514
税金等調整前四半期純利益	284,825	431,963
法人税、住民税及び事業税	87,153	155,959
法人税等調整額	4,365	△47,562
法人税等合計	91,519	108,397
少数株主損益調整前四半期純利益	193,306	323,566
少数株主利益	6,740	22,720
四半期純利益	186,566	300,846

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	193,306	323,566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,641	9,899
為替換算調整勘定	△10,659	△16,211
その他の包括利益合計	△27,301	△6,312
四半期包括利益	166,005	317,253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,310	299,165
少数株主に係る四半期包括利益	3,694	18,088

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記

当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第2四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第2四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
減価償却費	325,080千円	297,477千円
負ののれんの償却額	27,563千円	27,563千円

(5) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ベントナイト事業	アグリ事業	化成品事業	環境事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客に対する売上高	3,565,287	666,737	627,343	11,499	4,870,867	—	4,870,867
セグメント間の内部売上高又は振替高	31,302	—	—	—	31,302	(△ 31,302)	—
計	3,596,590	666,737	627,343	11,499	4,902,170	(△ 31,302)	4,870,867
セグメント利益	391,786	△ 34,052	57,557	△ 15,089	400,203	(△ 173,966)	226,236

(注) 1. セグメント利益の調整額△ 173,966千円には、セグメント間取引消去 485千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△ 228,122千円及び棚卸資産の調整額 53,670千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ベントナイト事業	アグリ事業	化成品事業	環境事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客に対する売上高	3,391,596	806,028	667,535	8,100	4,873,260	—	4,873,260
セグメント間の内部売上高又は振替高	48,055	—	1,610	—	49,665	(△ 49,665)	—
計	3,439,651	806,028	669,145	8,100	4,922,926	(△ 49,665)	4,873,260
セグメント利益	419,227	101,538	98,958	△ 15,556	604,167	(△ 209,309)	394,857

(注) 1. セグメント利益の調整額△ 209,309千円には、セグメント間取引消去 4,809千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△ 227,120千円及び棚卸資産の調整額 13,001千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。